

高退協ニュース

高知高退協
事務局
2002・3・12
No.115

高知県高等学校退職教職員協議会
高知市丸ノ内2丁目1-10
TEL 088-1822-16822
教育会館内高教組気付
郵便振替口座 0165012111893

全教の

全国教研集会成功する

高退協も支援団体として活躍

去る1月11日から14日迄の4日間、高知県内で開催された全教の「二〇〇一年度教育研究全国集会」は、延べ参加者一万二千名、当初の目的を達成し成功裏に幕を閉じました。

高退協は県内支援団体の一つとして、去年から全面的に協力しました。11日の全体集会は、春野町の県立体育館に約三千人（高退協は31名参加）が集まり、開会式と沢地久枝さんの記念講演を熱心に聴取しました。

12日から14日迄の分科会と分教会にも、教職員はもとより父母、高校生、県民が多く出席して内容の濃い研究討議が続けられ、マスコミにも大きく報道されました。

全教本部から次のような「お礼のあいさつ」が送られてきましたので紹介します。

みなさま方の多大なご尽力をいただいたことに心より感謝申し上げます。おかげをもちまして集会は大成功をおさめ「きずこう平和の世紀 つくろう『参加と共同』の教育・学校を」のテーマにふさわしく、今日の子どもと教育の危機を打開し、二一世紀の教育をきり拓くうえで、新たな到達点を築き、大きな役割をはたすことができましたと主催者一同喜んでいました。

とりわけ会場問題をめぐる困難な諸条件のなかで、高知集会の成功は、ご理解・ご協力をいただいた橋本知事をはじめとした県・市当局、教育行政と教育委員会、学校を会場としてお貸しいただいた校長先生、県・市・町の議員と弁護士各位、「成功させる会」、県労連をはじめとした諸団体・個人など、広範な方々の

ご尽力があつたればこそ感謝の気持ちでいっぱいです。また、集会で論議された内容についても、子どもたちの学ぶ喜びと希望を育む学校づくりをめざし、PTA・父母・地域住民はもとより、教育行政関係のみならずと教職員が同じテーブルについて立場をこえて議論できたことは、わたしども今後の運動にとつても新たな方向をしめすものとなりました。現地をはじめ参加した全国の教職員からも、この熱い期待に応え、高知集会で学び確かめられたことを仲間へ伝え、実践にうつすという決意が寄せられていくところです。

わたしどもも、本集会の成功を糧として、危機と困難を克服し、憲法・教育基本法が生きて輝く、子どもたちのための学校と教育をめざし、新たな決意で奮闘する所存です。大変遅くなりましたが、かさねて、ご協力をいただいた各位に深く感謝し、ご活躍をお祈りしてお礼の言葉とさせていただきます。

全国集會実行委員会
委員長 松村忠臣

天照

和と天皇の力がますます強くなり、敗戦で天皇の支配力はなくなり単なる象徴になった。しかし、昔のように天皇の力を復活しようとする動きもある。その波が今年の高知へ三回押し寄せた。第一波は一月の全国教研を妨害してきた右翼である。百余台の街宣車でやってきた。第二波は十月の国体に天皇が来る。第三波は十一月の全国障害者スポーツ大会に皇太子が来る。平成の元号使用は平静に考えれば、天皇制を支持することになる。(三谷)

老声草

今年も年賀状をもらった。午年に因んだ馬の絵や写真が多かった。夫婦と子ども3人計五人家族の写真に「一人増えます」と書き添えてあるのもあった。再び写真を見ると、なるほど奥さんのお腹が大きい。誠にめでたい賀状である。また別の賀状の差出人とは学生のころ十分間くらい話しただけであるが、四十年近く年賀を交わしている。いつか再会してゆっくり話したいと思っている。さらに別の元同僚は退職して「磯の上に坐り過ぎた」とある。魚釣りに凝ったのであろう。差出人不明も三枚あった。

さて今年には西暦二〇〇二年である。年賀状に西暦で書く人がどのくらいいるだろうか。差出人氏名を見て、西暦か、日本の元号である平成にするか一人一人当ててみた。当たることもある。外れることもある。今年もらった年賀状を分類すると西暦三三%、平成四四%、両方ともなしが二三%であった。両方とも書かなくて表を見れば何年か解るといふのであろう。西暦は世界共通である。平成は日本でのみ通用する。国際化の進む時代に珍しい現象である。そもそも日本の元号は西暦六四五年の大化元年に始まる。その後、帝位の交代や災害などにより年号を改める改元が行われた。明治以来一天皇に一元号となった。元号は天皇の国民に対する支配力を維持強化するために使われたのである。明治・大正・昭

高退協定期総会と退職者を励ます会

ご案内

恒例の上記の催しを次の通り行いますので、ぜひご参加くださいますようお願い致します。

とき 4月20日(土)
ところ 高知城ホール

3時から 定期総会(3階県教組会議室)

5時30分から 退職者を励ます会(4階ホール)
会費 5,000円

なお「励ます会」に参加される方は、準備の都合上、4月16日(火)までに下記までご連絡ください。

中川正路 088(822)6778
南千加良 088(844)5392
高教組 088(822)6822

養泉寺残日録

坪井 幹之

散歩考

散歩については何度か触れたが、今回はまとめて思いついたことを書いてみよう。ささやかな「散歩論」である。

「継続は力なり」という名言にあやかって言えば、「継続は健康の源泉」である。健康保持には持続的な運動は欠かせない。その点では高令者には散歩が手軽で最適だ。筆者が今までなんとか元気にやっていたのも朝の散歩に負うところが大きいと思う。

長続きのためには工夫がいる。コースの選定もその一つである。現在はA、B、Cの3コースを順繰りに歩いているが、坂道が心肺機能の活性化によいこと、新たに加えたのがBコース。山裾の道で、それも下駄履きでも危なくない舗装道路。従前からAコースは堤防に四季の草花が咲く久万川沿い、Cコースは高台にある観月坂団地である。

ポルトガル紀行

最初についたポルトガルは、外海に立脚した都市の歴史を、その街の文化や生活の細部まで、丁寧に描き出している。洗練された器が、その街の歴史を、その街の文化や生活の細部まで、丁寧に描き出している。

ポルトガルは、外海に立脚した都市の歴史を、その街の文化や生活の細部まで、丁寧に描き出している。

万歩計によれば、このコースでの歩数はそれぞれ六千、七千、八千程度である。その都度歩いた歩数を記録しているが、集計してみると昨年一年間では一七一九八八二歩になっている。伊能忠敬流に距離を出してみよう。計算には歩幅が必要。近くのジヨギングコースで計ってみると、三三二四歩で一・八軒である。では、いくらになるか、やや高度な計算になるが、算出はおまかせしよう。結果はなかなかの距離である。やはり「継続は力」である。

次に散歩の別の効用を述べよう。激石の「草枕」ではないが、歩行には想念がつきまとう。散歩中にもいろいろと考へが浮かぶ。実はこの「残日録」も構想から文案・推敲まで朝の散歩中に練ることが多い。古代ギリシヤの逍遥学派や京都の「哲学の道」などは歩行が思考の源になっていることを示している。散歩は足腰を鍛えるとともにボケ防止にも役立つようだ。

ガンの教訓

「胃ガンです。早く手術する方がいいですよ。」と医師に宣告されたのが昨年の11月。その告知に、しばらくはぼう然となり、なにか人ごとのように感じたことが思い出されます。

市の健康診断を受け、胃の異常を指摘され精密検査を経て、「生検」でガンと診断されたのです。特に自覚症状があったというところではなく、この健康診断が早期にガンを発見する契機になったのですが、それも四年ぶりの検診で、いかに健康に留意していなかったか、と自省しているところか、最低で年一回の定期検診を受けることが不可欠、これが今回の教訓です。

入院は11月下旬、一週間

「確定申告」に思う

寒中や 春告げるか 税の心み また、確定申告の季節がやってきた。昨年還付を受けていたので、申告書は取りに行かねばならないかと思っていたら送られてきた。その点は改善されたようである。

様式が変わったので多少戸惑ったが、何とか書き上げた。出た結論は六千円ながしかの還付である。やれやれ。しかし、よくよく考えてみれば先取りされていたわけで、「源泉徴収」は、やはり重税感を隠すイテジクの業である。税法には全く無知であるから、いろいろ不思議に思う所がある。申告書には収入金額と所得金額の欄がある。どう違うのか。手持ちの電子辞書によれば「収入とは、金銭を自己の所有とすること。所得」とあるから、異字同訓である。それが申告書では一六〇万の違ひとなる。素人考えであるが、収入の捕捉に不公平がある、例えば年金と商業利益で



かけて多くの臓器の精密検査、そして12月初めに開腹手術。みぞおちより下へ20cm切開、胃を2/3切除、大腸腺腫(手術前の精検で良性の腺腫発見)も除去、手術時間は五時間。

術後の経過は良好で、七日後位から歩行、流動食、抜糸と、予定通りの快復ぶりでした。傷口の痛みを案じていましたが、全然痛みを自覚することはなく、安堵しました。入院して一か月、術後三週間の12月下旬に退院することができました。

退院後の現在は、二週間一回通院して検診を受け、整胃腸剤を服用しています。食事は五回食で、よく噛むこと(一口30回)、食材は消化のよいものに限定すること等、指示されています。この食事療法は六月までというところで、夏にはビールを含めて普通の生活に戻れる予定です。

今後、定期検診受診を含めて健康に留意し、私にとっての「第三」の人生を大事にしたいと思っています。(中川 正路)

は、いわゆる網の目に大きな差異があることは事実であろう。その補正としてかかる国語破壊の制度が生み出されているのではないか。それならばまことに姑息である。その辺に詳しい方にご教示願いたい。

また、各種の控除があるが煩瑣で、素人の納税者には分かりにくい。その裏にいわゆる族議員の影を感じるのには辟みであらうか。

その外税金については、いろいろ疑問があるが、最大の問題はその使い方である。話は政治の基本に関わることになるが、計算の結果、私の納税額は六八、四〇〇円と出た。それほどの額ではない。納得出来る範囲にある。しかしそれはあくまでも、憲法の理念で使われることが前提である。ポイントを簡単に言えば「軍事費には使わず、社会保障中心の支出」ならばである。

確定申告にあたって思う。国民生活にも、はやく春よ来たれ。



火災お見舞いのお礼

山下碩彦

先の頃の私宅の火災(全焼)に際しましては、岡崎会長さん早速お見舞いに来てくださり、また高退協からは異例のお見舞金をいただきました。恐縮の至りでございます。一々会員の皆様にお礼を申し上げねばならないところですが、ここに紙上をお借りして有難く厚くお礼申し上げます次第です。

会費未納の方へ

年度末になりました。会費未納の方は同封の振込み用紙で至急お送りください。

